

公約に関する 取り組み



令和4年2月
帯 広 市

目 次

公約～38個別施策

1. 活力ある おびひろ

個別の施策	頁数
1 大学や研究機関、企業、農業団体などと連携し、先進技術を活用したスマートアグリなど、先進農業を進めます。	1
2 十勝農業を核に、6次産業化など、多様な「アグリビジネス」を振興します。	
3 「新・産業振興ビジョン」を策定し、地元中小企業の経営基盤の強化を図ります。	2
4 とかち・イノベーション・プログラムなどの展開により、「創業・起業」を促進します。	
5 第四次産業革命など、新たな動向を踏まえ、地元中小企業の経営革新等を支援します。	3
6 新たな工業団地の造成を進め、企業立地を促進します。	
7 道内6空港とともに、とかち帯広空港の一括民間委託を進め、空港機能の戦略的な活用を図ります。	4
8 十勝の自然や食を活かし、グランピングなどのアウトドア観光を展開します。	
9 ばんえい競馬の安定経営を進め、地域の振興に取り組みます。	5

2. 人輝く おびひろ

個別の施策	頁数
10 幼保小中連携により、子どもたちを健やかに育む、帯広らしい教育を推進します。	6
11 ICT等を活用した教育環境の充実や「学校校舎等の長寿命化計画」を策定し、計画的に整備を進めます。	
12 「小中学校のトイレの100%洋式化」を実現します。	7
13 地域支援などにより、重要文化財の保全に努めます。	
14 「新しい文化振興指針」を策定するとともに、市民協働による芸術鑑賞機会の提供を進めます。	8
15 スポーツ施設の長寿命化やスポーツ合宿の誘致など、スポーツを活かしたまちづくりを進めます。	
16 帯広畜産大学等との連携のもと、高等教育機能の充実を促進し、地域産業の担い手を育成します。	9
17 ライフステージごとに多様な学びの機会を提供し、幅広い年代の活躍を支援します。	
18 子どもから高齢者まで楽しめる動物園の整備を進めます。	10

3. 人に優しい おびひろ

個別の施策	頁数
19 安心して子どもを産み、育てられる、子育て相談機能を充実します。	11
20 地域包括ケアシステムを効果的に運用し、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めます。	
21 高齢者の経験や知識を活かした仕事づくりなどに取り組みます。	12
22 地域の医療機関等との連携により、安心できる医療環境づくりを進めます。	
23 企業や地域での「健康づくり市民運動」を展開します。	13
24 障がいのある人がいきいきと働ける環境づくりに取り組みます。	
25 火葬場のバリアフリー化等の改修を進めます。	14

4. 快適に暮らせる おびひろ

個別の施策	頁数
26 地震や水害に備え、自主防災組織の設立や都市基盤の強靱化など、地域防災力の強化に取り組みます。	15
27 中心市街地における再開発などを促進し、都市機能の更新を進めます。	
28 公園緑地や街路樹等の「適正管理計画」を策定し、都市における快適な緑の環境づくりを進めます。	16
29 市民・企業参画による帯広型の自然エネルギーの導入を進め、環境モデル都市行動計画を推進します。	
30 高齢者や子育て世代などが安心して居住できるよう、多様な形態の公営住宅の整備を進めます。	17
31 空家の適正管理の促進や未利用地の活用などにより、定住を促進します。	

5. 未来を拓く おびひろ

個別の施策	頁数
32 新たな時代に対応した「新しい総合計画」を策定します。	18
33 「新・行財政改革ビジョン」の策定や「市役所組織の改編」などにより、効果的・効率的な行政運営を進めます。	
34 若い世代や女性、企業など、幅広い市民参画を得て、コミュニティの再生を促進します。	19
35 地域の実情を踏まえ、コミュニティ施設の管理手法を検討し、効果的な運営を進めます。	
36 公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設等の効率的な管理・運営や長寿命化等を進めます。	20
37 公共施設のトイレの洋式化を計画的に進めます。	
38 定住自立圏構想や十勝バイオマス産業都市構想などを通し、十勝の自治体との連携を強化します。	21

この冊子は、平成30年度以降の公約の取り組み状況について、「活力ある おびひろ」「人輝く おびひろ」「人に優しい おびひろ」「快適に暮らせる おびひろ」「未来を拓く おびひろ」の5つの項目毎にとりまとめたものです。

時点の表記については、以下のとおり整理しています。

凡例：R 1 ⇒ 令和元年度
 R1.10末時点 ⇒ 令和元年10月末時点

なお、写真、グラフ等のデータにつきまして、出典の記載のないものは帯広市調べです。

(1) 大学や研究機関、企業、農業団体などと連携し、先進技術を活用したスマートアグリなど、先進農業を進めます。

持続可能で生産性・収益性の高い農業を推進するため、GPSガイダンスを搭載したトラクター等の導入支援や、大学等との共同による収穫作業の省力化に向けた調査・研究などに取り組みました。また、経営基盤の強化を図るため、黒毛和種生産の繁殖・育成技術の普及などに取り組みました。

主な取り組み

◆ICT等の先進技術の導入促進

- ・GPSガイダンスを搭載したトラクター等の導入支援
(ICT農業等推進事業に係る融資対象や限度額を拡大)
- ・省力化作業機械等の導入支援
(国の畑作構造転換事業、畜産クラスター事業の活用)
- ・北見工大等との長いも収穫作業の省力化に向けた共同研究の実施

◆生産体制・経営基盤の強化

- ・黒毛和種生産における繁殖・育成技術の普及促進
- ・環境保全型農業に取り組む生産者への支援
- ・国際水準GAP研修会の実施
- ・新規作物（トウキ・マスタード等）の作付支援



GPSガイダンスを搭載したトラクター等の導入推進 (GPS基地局利用延べライセンス数)

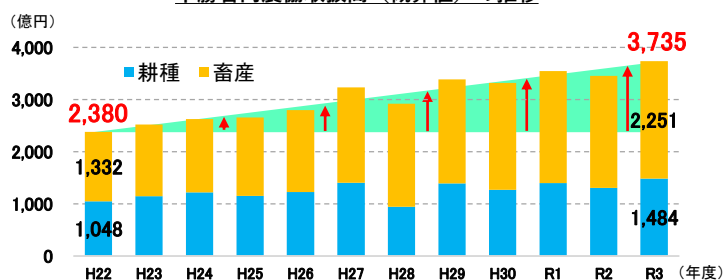
累計 281基

H30 115基 R1 46基 R2 120基

市内黒毛和種繁殖用雌牛 飼養頭数（年度別実績）

H30 512頭 R1 459頭 R2 695頭

十勝管内農協取扱高（概算値）の推移



出典) 十勝地区農協組合長会、十勝農協連、十勝総合振興局発表
十勝総合振興局ホームページ

(2) 十勝農業を核に、6次産業化など、多様な「アグリビジネス」を振興します。

十勝の食・農の付加価値向上や雇用の創出を図るため、長いも加工品製造工場の整備を支援したほか、域内外企業との連携による乳加工品の新たな商品開発の支援などに取り組みました。また、首都圏で「十勝大百貨店」を開催するなど、十勝の食のPRに取り組みました。

主な取り組み

◆十勝の食の高付加価値化の推進

- ・十勝川西長いもを使った冷凍とろろ工場の整備支援
- ・市内初となるワイナリーの整備支援
- ・北海道フードネットワークプロジェクトによる新商品開発への協力

◆首都圏企業との連携事業の推進

- ・フードバレーとかち推進協議会と㈱明治の包括連携協定に基づく取り組みの推進（十勝ヨーグルトプロジェクト等）
- ・フードバレーとかち推進協議会とJAL・JALUXの包括連携協定の締結

◆大都市圏での十勝のPR

- ・十勝の食を首都圏でPRする「十勝大百貨店」の開催
- ・関東・関西の百貨店等における十勝の食のPR・販路開拓の支援
- ・メディアを活用した取組み周知（TVh「けいナビ」にて「フードバレーとかちの10年」とした特集を放映）

フードバレーとかち推進協議会の取り組み

㈱明治との包括連携事業



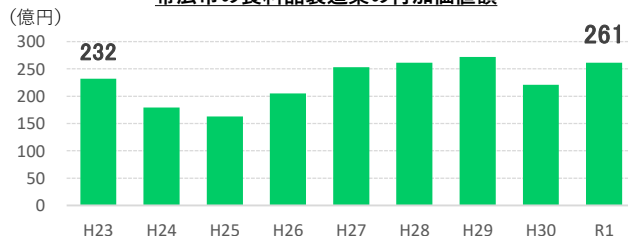
「十勝ミルク乳酸菌TM96」を活用した地域連携型のヨーグルト商品の開発・販売を支援（5社6商品）

JALグループとの包括連携協定の締結



JALグループのネットワークを活用した十勝産商品の開発・販路拡大を目的に協定を締結

帯広市の食料品製造業の付加価値額



出典) 十勝総合振興局ホームページ

(3) 「新・産業振興ビジョン」を策定し、地元中小企業の経営基盤の強化を図ります。

中小企業の経営基盤の強化を図るため、産業振興の基本方向や展開施策を示す「第2期帯広市産業振興ビジョン」を策定し、制度融資による資金調達等への支援や、企業の人材確保に向けた求職者とのマッチング支援などに取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休業協力を実施した事業者に経営継続に向けた支援を実施しました。

主な取り組み

◆第2期産業振興ビジョンの策定・推進

- ・中小企業振興融資制度の改正（「事業承継により、株式を取得する後継者個人」を対象要件に追加）
- ・ものづくり補助金の拡充（とかち財団を実施主体として、対象範囲を十勝管内の事業者に拡大）

十勝ものづくり総合支援補助金



採択数

R1 6事業者

R2 4事業者

R3 4事業者

※令和3年度の採択者（とかち財団ホームページより）

◆人材の確保・育成の支援

- ・十勝の求職マッチングシステム「ビズロケとかち」による人材確保の支援
- ・UIターン促進事業による移住支援
- ・高校生向け企業研究セミナー等の開催による若年者の地元企業への定着支援
- ・若年者離職防止支援事業の実施

◆コロナ禍で影響を受けた事業者等への支援（帯広市独自事業）

- ・融資限度額等の拡充、信用保証料の補給対象の拡大
- ・北海道の休業支援金に上乗せ給付や市独自給付
- ・国の持続化給付金の対象外となる新規創業者の支援
- ・国の持続化補助金を活用した販路拡大等の取り組みに市独自の上乗せ補助
- ・国の雇用調整助成金等に市独自の上乗せ補助
- ・繁華街における感染防止対策やPR支援
- ・宿泊施設等の割引相当額に対する先行買取
- ・地域の消費喚起を促進するプレミアム商品券の発行
- ・飲食業の経営継続に向けた支援
- ・営業時間短縮に協力した飲食業への北海道の協力金に対する上乗せ給付
- ・北海道の酒類販売事業者特別支援金の対象外となる市内事業者に対し支援
- ・飲食店が入居しているビル等の共用部分の感染対策の支援

(4) とかち・イノベーション・プログラムなどの展開により、「創業・起業」を促進します。

関係機関等との連携のもと、とかち・イノベーション・プログラムや十勝ドリームマップ会議を開催し、新たなチャレンジを目指す人材の発掘に取り組みました。また、事業構想の実現を目指す起業家への資金提供のほか、起業家・経営者の相談対応など、創業支援を行いました。

主な取り組み

◆十勝・帯広の創業・起業に向けた支援

- ・創造的なビジネスモデルを実践する革新的経営者と、十勝の事業者や起業予定者との交流を通し、新たなビジネスを作り出す「とかち・イノベーション・プログラム」の開催
- ・若年層に起業を身近に感じてもらうプログラム「Step up Next」の実施
- ・起業家コミュニティの構築に向けた十勝ドリームマップ会議の実施
- ・とかち財団を通じた事業化支援（とかち・コネクション、学生起業家育成奨学金、アーリーステージ事業者支援助成金、十勝ものづくり総合支援補助金など）
- ・起業家や経営者、創業支援の専門家等が集うやりたい実現カフェ「LAND（ランド）」の開設

◆地域マーケティング事業の実施

- ・首都圏に在住する十勝のファンからニーズを調査・分析し、まちづくりに活かすことを目的とした「とかちファンミーティング」の開催（十勝・東京）

◆札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会に参画

- ・国のスタートアップ・エコシステム推進拠点都市に指定

とかち・イノベーション・プログラム



延べ542人（H27～R3）の
起業家コミュニティを構築

（事業構想 57件
事業化 19件）

起業家育成事業「Step up Next」



5年間（H28～R2）で
117人が参加

（左：R1年度に実施したプログラミングの1日体験
（場所：LAND））

（５）第四次産業革命など、新たな動向を踏まえ、地元中小企業の経営革新等を支援します。

地元中小企業の持続的な成長を促進するため、新事業・規模拡大に向けた設備投資を支援したほか、IoT（モノのインターネット）の最新技術に関する普及促進や知的財産等の活用に関する相談会の開催、地域産業を牽引するリーダー人材の育成などに取り組みました。

主な取り組み

◆設備投資の促進

- ・企業立地促進条例による認定支援 累計**21**件（H30～R3）
- ・地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引企業の認定支援 累計 **5** 件（H30～R1）
- ・生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定支援 累計**119**件（H30～R3）

◆新商品・サービス開発・販路拡大の支援

- ・地元企業を対象とした「十勝ものづくり総合支援補助金」による支援

◆最新技術等に係る相談ネットワーク（プラットフォーム）の構築

- ・特許・商標など知的財産に関する発明相談の開催（毎月開催）
- ・とかち財団や地元企業によるプラットフォーム「ISOBUS普及推進会」に対する協力

「ISOBUS」とは、トラクターと作業機が情報のやり取りをするために定められた国際規格です。

◆人材確保・育成の支援

- ・フードバレーとかち人材育成事業によるリーダー人材の育成 修了生**570**人（H24～R3）

新サービス開発を行う施設への整備支援



帯広市企業立地促進条例に基づき、民間企業が新サービスの調査・設計・開発を行う研究所の整備を支援

フードバレーとかち人材育成事業 （特別講習 AI活用セミナー）

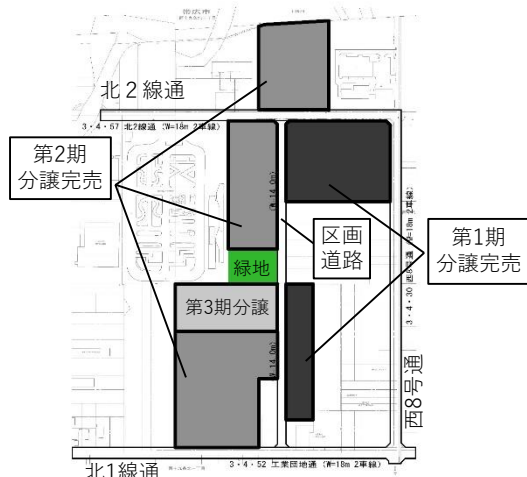


（６）新たな工業団地の造成を進め、企業立地を促進します。

工場等の新設、企業の事業拡大・集約化等を促進するため、新たに「帯広市西19条北工業団地」を造成しました。また、地域の産業振興や雇用創出に向け、企業の設備投資に対する支援制度の拡充や企業訪問等に取り組み、第2期販売までの分譲地の完売につなげました。

主な取り組み

◆帯広市西19条北工業団地の造成、販売



経過

【R1年度】

- ・第1期分譲分の造成工事の実施（～R2.5）
- ・第1期分譲分（11区画）の先行予約販売の実施（R2.8完売、10社）

【R2年度】

- ・第2期、第3期分譲分の造成工事の実施（～R3.3）
- ・第2期分譲分（9区画）の先行予約販売の実施（R3.10完売、6社）

◆企業立地の促進

- ・中小企業振興融資制度の拡充（帯広市西19条北工業団地を追加）
- ・企業立地促進条例の改正（貸工場等の投資促進）
- ・工業団地立地奨励金制度の改正（帯広市西19条北工業団地への適用）

帯広市企業立地促進条例および 帯広市工業団地立地奨励金に基づく支援実績（H22～R3）

- | | | | |
|--------------|------------------|----------------|---------------|
| ・企業立地・設備投資件数 | 累計 81 件 | [3期目実績（H30～R3） | 19 件] |
| ・雇用者数 | 累計 140 人 | [3期目実績（H30～R3） | 33 人] |
| ・民間投資額 | 累計 245 億円 | [3期目実績（H30～R3） | 61 億円] |

(7) 道内6空港とともに、とかち帯広空港の一括民間委託を進め、空港機能の戦略的な活用を図ります。

一体的・機動的な空港経営を推進するため、とかち帯広空港の一括民間委託を進めたほか、滑走路などの施設整備による機能強化や、ターミナルビルと空港を合わせた一体的な運営に向けた取り組みを進めました。また、航空ネットワークを活かした広域観光の振興等を図るため、三大都市圏や東アジアからの誘客に向けたプロモーションなどに取り組みました。

主な取り組み

◆北海道内7空港一括運営委託の推進

- ・北海道エアポート(株)によるとかち帯広空港の一体的な運営の開始
- ・とかち帯広空港の運営に関する協議会の発足

◆とかち帯広空港の機能強化

- ・滑走路改良工事の実施
- ・誘導路改良工事の実施
- ・航空灯火・電力監視制御装置改良工事の実施
- ・滑走路端安全区域 (RESA)の整備

◆路線拡充と空港利用の促進

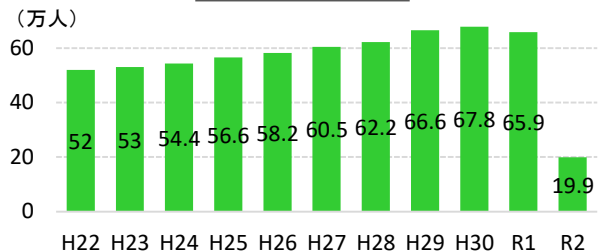
- ・三大都市圏・東アジアを中心としたプロモーション
- ・台湾チャーター便、FDA国内チャーター便が就航

北海道内7空港民間運営開始記念式典 (R2.1)



帯広市を含む7市3町、北海道、北海道エアポート(株)によるパートナーシップ協定の締結

定期便利用者乗降客数



(8) 十勝の自然や食を活かし、グランピングなどのアウトドア観光を展開します。

株式会社デスティネーション十勝による、十勝の自然・食を活かした旅行商品の開発や、ビジネスキャンプ、オーダーメイドツアーの展開等への支援を行ったほか、管内自治体・地元企業等との連携によりアウトドアを核とする体験・滞在型観光を推進しました。

主な取り組み

◆デスティネーション十勝を通じたアウトドア観光振興

- ・(株)デスティネーション十勝が観光庁の地域連携DMOに登録
- ・モニターツアー、ビジネスキャンプ、冬季グランピング、インパウンドオーダーメイドツアーの実施
- ・管内自治体のアウトドア観光事業等のコーディネート

◆ポロシリキャンプフィールドの整備

- ・炊事場の修繕、シャワー室・Wi-Fi設備の整備

◆サイクルツーリズムの推進

- ・サイクルイベントの開催支援
- ・サイクリング環境の整備(岩内仙峡のマウンテンバイクコースの整備、サイクルラックの設置など)
- ・帯広市を起終点とする「トカプチ400」がナショナルサイクルルートに指定

スノーピーク十勝ポロシリ キャンプフィールド



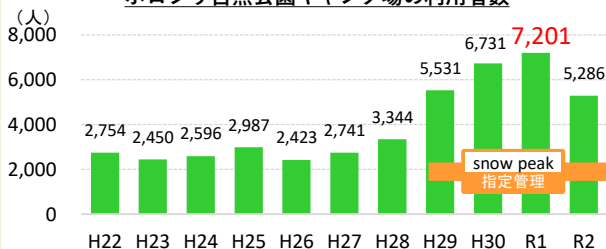
トカプチ400



市内観光入込客数	H30	R1	R2	R3
	293万人	282万人	142万人	98万人
道内市町村順	8位	8位	11位	(R3.9末時点)

市内宿泊客延べ数	H30	R1	R2	R3
	127万人	119万人	77万人	39万人
道内市町村順	5位	4位	3位	(R3.9末時点)

ポロシリ自然公園キャンプ場の利用者数



（９）ばんえい競馬の安定経営を進め、地域の振興に取り組みます。

公正競馬の確保を進めるとともに、競走馬の生産振興や動画配信等による情報発信の強化、安定的な収益確保に向けたインターネット発売を推進しました。また、来場者の増加に向け、老朽化した厩舎やスタンド等の整備・改修、とかちむらを通じた魅力発信などに取り組みました。

主な取り組み

◆競走馬の確保

- ・競走馬の生産者に対し生産奨励金の交付

◆ばんえい競馬の売り上げ確保

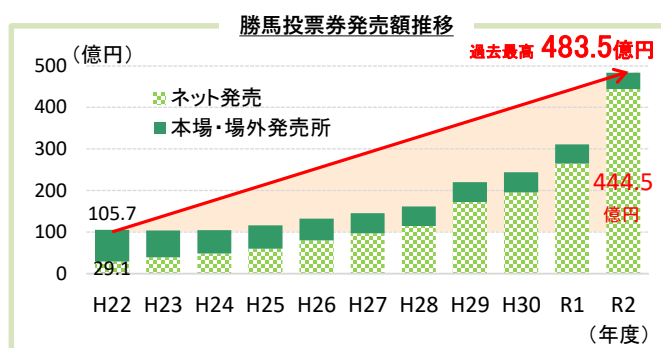
- ・ネット発売の推進（SPAT4、楽天、オッズパーク）
- ・スポーツ新聞社等と連携した発売戦略（馬柱の掲載）
- ・楽天とのYoutube動画によるライブ配信
- ・ばんえい競馬運営ビジョンに基づき、売り上げ（R2決算余剰金）の一部を市一般会計に繰り出し

◆施設、設備の更新・改修

- ・厩舎・共同浴場の建替、世帯用宿舍の建設などの支援
- ・競馬場の改修・更新（スタンドの照明器具、床、トイレ、エレベータなど）

◆とかちむらを通じた魅力発信

- ・競馬場の入り口となるとかちむらにイルミネーションを設置
- ・競馬場イベントにおける連携（イベント景品の調達など）



(10) 幼保小中連携により、子どもたちを健やかに育む、帯広らしい教育を推進します。

地域全体で子どもを育むため、幼保小中の関係者の連携促進や、保護者・地域住民による学校運営への参画の促進、児童生徒が地域社会を学ぶ「おびひろ市民学」の実施などに取り組みました。また、小中一貫教育の推進に向け、基本方針の策定や大空学園義務教育学校の整備を進めました。

主な取り組み

◆子どもの発達や学びの連続性を重視した教育活動「帯広市エリアファミリー構想」の推進

- ・市内14中学校区を1つのエリアとして、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・児童保育センター（学童）・中学校の関係者が集まり、地域の子どもの発達や学びを育むための課題認識の共有や実践的な活動の促進

◆学校運営に保護者や地域住民が参画する「コミュニティ・スクール」の導入

- ・学校・家庭・地域の連携・協働により地域の子どもを育む取り組みの促進
(右：ボランティアの授業サポート)



◆児童生徒が地域社会について学ぶ「おびひろ市民学」の実施



左：ごみ収集に関する学習
右：防災に関する学習

◆帯広市小中一貫教育推進基本方針の策定・推進

- ・帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画を策定
- ・義務教育学校の開校に向けた施設整備

◆市立大空学園義務教育学校の整備



R4.4 開校予定

(11) ICT等を活用した教育環境の充実や「学校校舎等の長寿命化計画」を策定し、計画的に整備を進めます。

子どもたちの主体的な学びや学習内容の理解促進を図るため、1人1台端末の導入など、ICTを活用した教育環境づくりを進めたほか、学校図書館の蔵書などの整備に取り組みました。また、学校の適正な維持管理を図るため、帯広市学校施設長寿命化計画を策定し、計画的に施設改修や設備更新を進めました。

主な取り組み

◆情報活用能力を育成する教育環境の整備

- ・大型提示装置や実物投影機などの整備（全小中学校）
- ・GIGAスクール構想の実現に向けた児童生徒1人1台端末およびWi-Fi等の構内ネットワークの整備
- ・学校図書館の蔵書などの整備

主な整備内容

タブレット型端末 R2 12,002台 児童生徒1人に1台導入
大型提示装置 H30-R2 371台 全通常学級及び特別教室等に導入
実物投影機 H30-R2 195台 全小学校の全通常学級に導入
学校図書館蔵書 蔵書率 H30 88.0% ➡ R3 100%達成

ICT端末を活用した授業（電子図書による読書）



◆ICTを活用した授業の充実

- ・教職員の指導力向上などを支援する「おびGIGA支援員」の派遣

◆帯広市学校施設長寿命化計画の策定・推進

- ・市立大空学園義務教育学校の整備
- ・感染症対策として、保健室にエアコン、廊下等に網戸を設置
- ・学校施設の長寿命化に向け、屋根・外壁・受変電設備・校舎温水ボイラー等の改修・整備の実施

(12) 「小中学校のトイレの100%洋式化」を実現します。

児童・生徒の快適な学校生活のため、帯広市内の小中学校及び帯広南商業高等学校の校舎トイレの計画的な改修を進め、100%洋式化を実現しました。

主な取り組み

◆取り組みの内容

- ・トイレの大規模改修
- ・和式便器の個別改修

◆改修実績

- ・帯広市内の小中学校・帯広南商業高等学校のトイレ洋式化率**100%**を達成
※各学校のニーズを考慮し、一部の和式トイレを残す
- ・北栄小、緑丘小、広陽小のトイレの大規模改修

小・中学校における改修実績

	H30	R1	R2	R3	計
改修実績	68基	102基	111基	173基	454基
洋式化率	70.1%	77.8%	87.2%	100%	-

緑丘小学校



明和小学校



(13) 地域支援などにより、重要文化財の保全に努めます。

文化財の保全と活用を図るため、国の重要文化財指定を受けた「八千代A遺跡」の特別企画展の開催などに取り組みました。また、文化財の住民周知・活用拡大に向け、国の重要文化財である旧双葉幼稚園園舎について、所有者・関係者と情報交換等を行いました。

主な取り組み

◆重要文化財の保全・公開

- ・八千代A遺跡出土品が国の重要文化財に指定（H30.10.31）
- ・特別企画展「八千代A遺跡とその時代」の開催（来場者 3,574人）
- ・常設展示室内で指定品の常時公開
- ・指定出土品の保存・活用を図る美装化・修理の検討
- ・市指定文化財の指定に向けた文化財候補の検証・検討

◆文化財の住民周知・活用拡大

- ・旧双葉幼稚園園舎の所有者・関係者との情報交換の実施
- ・旧双葉幼稚園園舎の史跡表示板の改修
- ・市ホームページを活用した文化財等の周知
- ・八千代A遺跡出土品を活用した学校教材（土器づくり体験トランクキット）の開発・配布

◆アイヌ文化の理解促進

- ・アイヌ古式舞踊保護団体への支援
- ・アイヌ民族文化情報センター「リウカ」による学習の場の提供
- ・常設展示室、リウカ、野草園及び動物園でのデジタルコンテンツの提供（Wi-Fi、多言語モバイルガイドの整備）

特別企画展「八千代A遺跡とその時代」



八千代A遺跡出土品の常設展示



(14) 「新しい文化振興指針」を策定するとともに、市民協働による芸術鑑賞機会の提供を進めます。

文化団体等へのアンケートや意見交換の結果を踏まえ、市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、帯広市教育基本計画を策定しました。また、市民協働による芸術鑑賞機会の提供に向け、パートナー企業の募集や企業協賛による鑑賞事業の開催に取り組みました。

主な取り組み

◆新しい文化振興指針の策定・推進

- ・市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、帯広市教育基本計画を策定・推進

◆企業協賛による文化・芸術の振興

- ・企業寄附による文化ホール客席用いすの交換、車いす使用者席の拡張等の大ホール改修
- ・市と協働で鑑賞事業を実施するパートナー企業の募集、周知
(市ホームページ掲載、帯広建設業協会への協力依頼、企業へチラシ送付)

◆市民協働による芸術鑑賞機会の提供

- ・企業との共催による松浦武四郎をテーマにしたミュージカル公演の開催 (H30.8)
- ・地元作家4人による稲田小学校ふれあい美術館での絵画・版画展示 (H30.10～R2.3)
- ・帯広市民バレエ「 Coppélia 」への協力 (H30.12)
- ・企業寄附による文化ホール大ホールリニューアル記念公演の開催 (R1.4)
- ・帯広市民オペラ「カルメン」への協力 (R1.12)
- ・パートナー企業による鑑賞事業「ヴァイオリン＆ピアノによるクラシック名曲コンサート」の開催 (R4.1)

稲田小学校ふれあい美術館



企業寄附により椅子を更新した文化ホール



パートナー企業による
音楽鑑賞機会の提供



(15) スポーツ施設の長寿命化やスポーツ合宿の誘致など、スポーツを活かしたまちづくりを進めます。

スポーツ施設の機能が効果的に発揮されるよう、帯広の森体育施設の改修や、新たな総合体育館「よつ葉アリーナ十勝」の供用開始のほか、スポーツを通じた交流人口の拡大等に向け、各種大会の開催支援やスポーツ合宿の誘致などに取り組みました。また、市民の健康増進に向け、乳たんぱく摂取とスポーツを通じた健康啓発事業などに取り組みました。

主な取り組み

◆スポーツ環境の整備

- ・帯広市総合体育館「よつ葉アリーナ十勝」の供用開始 (R2.2)
- ・ネーミングライツパートナーと連携したスポーツ教室の実施
- ・総合型地域スポーツクラブの設立支援
- ・スポーツ施設の計画的な改修 (帯広の森体育施設高圧ケーブル等改修工事、帯広の森体育館ボイラー改修工事)

◆スポーツの大会誘致・開催支援

- ・フードバレーとかちマラソンの開催 (H24-R3)
※R2、R3はWEB開催
- ・ワールドカップスケート競技会の開催支援 (H30)
- ・女子アイスホッケー世界選手権 (U-18) の開催支援 (H30)
- ・日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) の開催支援 (H30-R3)
- ・北海道グランサイクルツーリズムの推進 (H30-R3)
- ・ツール・ド・北海道の開催支援 (R1)
- ・東京2020オリンピック、パラリンピック関連事業の実施 (R2-R3)

◆スポーツによる市民の健康啓発

- ・乳たんぱく摂取とスポーツを通じた市民の健康啓発の実施
- ・スマホアプリ「SPOBY」を使った健康啓発

帯広市総合体育館「よつ葉アリーナ十勝」実績

【利用者数】

R1 15,127人 R2 236,879人 R3 181,725人
(R2.2-3) (R3.12末時点)

【開催事例】

- ・JFA第17回全日本女子フットサル選手権大会 (R2.10-11)
- ・B.LEAGUE 2021-22シーズン レバンガ北海道 公式戦
- ・F.LEAGUE 2021-22ディビジョン1 エスポラダ北海道 公式戦 等

レバンガ北海道 公式戦 (R3.4)



(16) 帯広畜産大学等との連携のもと、高等教育機能の充実を促進し、地域産業の担い手を育成します。

高等教育機能の充実に向け、「とかち高等教育推進まちづくり会議」において、食品安全管理の人材育成に関する調査研究や意見交換などに取り組みました。また、帯広畜産大学と連携し、若者の地元定着や地域課題解決の促進等に向け、学生が十勝を学び関心を高める実学教育の実施、学生生活の展開や地元企業との共同研究を支援しました。

主な取り組み

◆高等教育の充実に向けた検討

- ・食品安全管理の人材育成に関する調査研究・意見交換（企業への意向調査など）
- ・国・道など関係機関に対し、帯広畜産大学の整備拡充に向けた要望活動を実施

◆大学と連携した人材育成の取り組み

- ・フードバレーとかち人材育成事業の実施
- ・ヒトと馬の絆による教育・研究・社会貢献事業の実施
- ・帯広畜産大学との連携事業「学生と地域がつながるまちづくり支援事業」の実施

学生と地域がつながるまちづくり支援事業

- ・十勝について学ぶ地域連携型授業「とかち学」
- ・現場を深く知る課外教育「十勝旅」「経営者とガチで学ぶ交流会×勉強会」
- ・学生と十勝をつなぐプログラム「ちくだいスタートアップ体験プログラム」
- ・企画運営の体験機会の提供「十勝ジンギスカン会議」
- ・地域活性化に向けた自主的活動の促進「ちくだいらんぷプロジェクト」
- ・地域産業の活性化「学生と地域企業の共同研究」

とかち学～十勝のキーマンから学ぶ



学生と地域がつながるまちづくり支援事業 ちくだいスタートアップ体験プログラム



(17) ライフステージごとに多様な学びの機会を提供し、幅広い年代の活躍を支援します。

多様な世代を対象に、人生100年時代を見据えたキャリア形成や健康促進など、豊かな生活づくりに役立つ市民大学講座を開講しました。また、シルバー人材センター等と連携し、高齢者の社会参加に向けた就労情報の提供などに取り組みしました。

主な取り組み

帯広市民大学講座



【開催状況】

H30	61講座	延べ4,515人
R1	57講座	延べ4,803人
R2	29講座	560人
R3	26講座	834人（R3.12末時点）

【開催例】

- ・人生100年時代に備える 今からはじめる資産運用のキホン（H30.7）
- ・人生100年時代・AI時代を生き抜く、私づくりのアンテナを磨く（R1.9-10、R2.1）

プラザ・エンジョイスクール



帯広シニアサークル「ふたば」



◆多様な世代に対応した生涯学習機会の提供

- ・帯広市民大学講座の開催
- ・生涯学習指導者登録制度による地域における学習活動の支援（登録者数 **178人**（R3.12末時点））
- ・帯広シニアサークル「ふたば」の開催
- ・プラザ・エンジョイスクールの開催
- ・放送大学北海道学習センター帯広学習室による学習機会の提供

◆生涯学習に関する情報発信

- ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行

◆高齢者人材の就労支援

- ・高齢者の社会参加に向けた就労情報を提供する「シルバー人材センター」への運営支援
- ・WEBサイト「ジョブジョブとかちシニア」によるシニア人材の再就職の支援

(18) 子どもから高齢者まで楽しめる動物園の整備を進めます。

幅広い世代が楽しめる魅力ある動物園を目指し、新たなアザラシ舎の整備や、帯広畜産大学と連携した動物観察会の実施、キッチンカーによる飲食サービスの充実などに取り組みました。また、プロモーション動画の制作など、オンラインコンテンツの充実に取り組みました。

主な取り組み

◆「おびひろ動物園の魅力アップに向けて（方針）」の策定・推進

- ・プロモーション動画の制作・発信
- ・SNS（インスタライブ、Twitter等）による情報発信
- ・1日飼育係や裏側探検等の体験事業の実施
- ・スポットガイドやおびZoo寺子屋等の教育事業の実施
- ・園内でのキッチンカーによる飲食サービスの充実

◆帯広畜産大学との連携による取り組み

- ・野生動物に関する共同研究
- ・市民向け講座「モモンガってなんだ？夕暮れモモンガ観察会」の開催

◆施設整備

- ・旧アシカ舎をアザラシ舎に転用する改修工事の実施
- ・園路の整備工事の実施
- ・園内のWi-Fi環境の整備
- ・アイヌ文化とのふれあいゾーン形成事業の実施（エゾモモンガ、エゾフクロウ、エゾタヌキ、エゾシカの4種類の看板を設置）

夏期来園者数

H30 171,315人 R1 171,747人 R2 135,937人 R3 116,239人

新たに整備したアザラシ舎



Twitter（エゾフクロウ）の動画投稿が
140万回再生、「いいね」約10万件



キッチンカーによる
飲食サービスの充実



動物園の裏側体験隊



(19) 安心して子どもを産み、育てられる、子育て相談機能を充実します。

妊娠期から出産、子育て期において切れ目ない支援を進めるため、子育て世代包括支援センター機能を整備し、子育てに不安・困難を抱える家庭の早期把握、相談・助言の実施、産前産後のサポートの充実などに取り組みました。

主な取り組み

◆切れ目のない子育て支援の実施

- ・相談者や家族の状況に合わせた「子育てプランシート」を作成し、最適な子育て支援サービスを提供
- ・WEBサイト「帯広市すこやかネット」の運営による妊娠・子育てに関するお知らせ・イベント情報・関連動画などの配信

◆子育て相談による支援体制の充実

- ・地域子育て支援センターにおける妊産婦の育児不安の解消をはかる講座・相談会の実施
- ・産前産後サポート事業（ママと赤ちゃんの相談会等）の実施
- ・産後の身体的・精神的回復を促す産後ケア事業の利用期間を延長
- ・養育困難な家庭や多胎児家庭に対する育児・家事支援
- ・会員相互に子育てサポートを行う帯広市ファミリーサポートセンター事業の実施

帯広市すこやかネット



ママと赤ちゃんの相談会



子育てプランシートの作成件数（H30～R2）

母子保健型セルフプラン作成件数 **3,316**件
母子保健型支援プラン作成件数 **27**件

帯広市ファミリーサポートの利用件数

	H30	R1	R2	R3
利用件数	1,096件	1,201件	1,195件	1,113件
	(R3.12末時点)			

地域子育て支援センター実施の講座等への参加組数

	H30	R1	R2	R3
参加組数	4,356組	4,155組	2,189組	1,684組
	(R3.12末時点)			

(20) 地域包括ケアシステムを効果的に運用し、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らせる環境づくりを進めるため、医療・介護・福祉などの専門職の連携の推進や地域社会の課題解決を進める地域ケア会議の開催などに取り組みました。また、日常生活における助け合いを促進するため、「ちょっとした支え合いサポーター」や「認知症サポーター」の養成に取り組みました。

主な取り組み

◆在宅医療・介護連携の推進

- ・在宅生活を支える介護職や医療職等の専門職のための相談窓口の設置
- ・地域包括支援センター、医療機関との連携支援機関会議の開催

◆介護予防・生活支援の推進

- ・多様な主体による高齢者を対象とした介護予防・生活支援サービス事業の実施
- ・介護予防のきっかけづくりや、継続支援を行う一般介護予防事業の実施
- ・地域の支え合いに関する話し合いや活動の支援を行う「地域支え合い推進員」の配置（全8圏域）
- ・地域の人に助け合いを広める「ちょっとした支え合いサポーター」の養成講座の開催

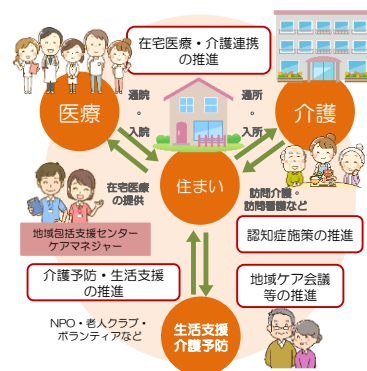
◆認知症施策の推進

- ・市内の全小・中学校で「認知症サポーター」の養成講座を開催（R2～）
- ・認知症の人やその家族に早期に関わり、医療や介護等の専門家が支援する「認知症初期集中支援チーム」の運用
- ・「帯広市認知症高齢者等SOSネットワーク」の広域運用（十勝17町村との情報共有・連携）

◆地域ケア会議等の推進

- ・住民や関係団体、専門職等とともに、高齢者支援の充実や、それを支える地域社会の課題解決を進める「地域ケア会議」の開催

地域包括ケアシステムの推進



ちょっとした支え合い
サポーター登録者数 累計 **197**人
[H30～R3年実績 + 91人]

認知症サポーター
養成講座受講者数 累計 **22,995**人
[H30～R3年実績 + 7,887人]

(R3.12末時点)

(21) 高齢者の経験や知識を活かした仕事づくりなどに取り組みます。

高齢者の社会参画を促進するため、就業開拓アドバイザーを配置し、雇用主を対象とした就業ニーズの調査に取り組んだほか、WEBサイトの活用や関係機関との連携により、求人を希望する企業とシニア人材のマッチングを支援しました。

主な取り組み

◆高齢者の社会参画への促進

- ・地域の元気なシニア人材の就職活動と地元企業の求人活動を結びつけるマッチングシステム「ジョブジョブとかちシニア」の運営
- ・就業開拓アドバイザーの配置による雇用主への働きかけ
- ・北海道社会福祉協議会と連携した「アクティブシニアカフェ」の開催
- ・民間企業との包括連携協定に基づく就業説明会の開催
- ・高齢者も介護の担い手として活躍できる帯広市生活援助員の育成（てだすけサービス）

シニア人材の再就職支援を行う マッチングWEBサイト 「ジョブジョブとかちシニア」



就業開拓アドバイザーによる新規就業数

H30 6人 R1 12人 R2 42人 R3 45人
(R3.12末時点)

アクティブシニアカフェを通じた就業者数

H30 利用者数 172人 就業者数 26人
R1 利用者数 171人 就業者数 28人

シニアお仕事説明会



登録者数 96人
企業登録数 176社
(R3.12末時点)

(22) 地域の医療機関等との連携により、安心できる医療環境づくりを進めます。

医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間や休日等においても安心して医療を受けられる環境づくりを進めました。

主な取り組み

◆救急医療体制の確保

- ・初期救急（帯広市休日夜間急病センターの運営、在宅当番医士の維持・支援）
- ・二次救急（病院群輪番制の維持・支援）
- ・三次救急（救命救急センターの維持・支援、ドクターヘリ運航調整会議への参画）
- ・二次救急医療体制を協議する救急医療対策検討会議の開催
- ・医療機関の適切な情報提供を行う急病テレホンセンターの運営支援

◆看護人材の確保

- ・看護師等養成機関への支援
- ・看護師の再就職支援
- ・帯広市医師会による看護専門学校整備への支援（市有地貸付契約締結）

◆帯広市の独自支援

- ・無料低額診療の対象者に対する院外保険薬局の調剤処方費用を支援

◆医療に関する情報発信

- ・治療内容や医療などに関する相談窓口の周知
- ・がん患者をサポートする関係機関の周知

帯広厚生病院



H30.11 移転新築オープン

(23) 企業や地域での「健康づくり市民運動」を展開します。

誰もが健康に対する意識を高めながら、主体的に活動する地域づくりに向け、スマホアプリを活用した健康マイレージ事業に取り組んだほか、各種検診のインターネット申し込み受付の開始、後期高齢者の脳ドックの定員拡充、生活習慣の改善や乳がん・子宮がんの予防啓発などをテーマとした出前健康講座を実施しました。

主な取り組み

◆健康教育の推進

- ・生活習慣の改善などに関する出前健康講座の実施
- ・食生活の改善や主体的な運動を促すランチ＆運動付き健診教室の実施

◆介護予防の推進

- ・バス無料乗車証交付による高齢者の社会参加の促進
- ・高齢者いきいきふれあい館「まちなか」の運営支援
- ・介護予防教室「げんき活動コース」の実施

◆がん対策の推進

- ・がん対策推進条例施行（H31.4施行）
- ・保健師による出前健康講座「乳がん・子宮がん予防キャラバン」の実施
- ・ピンクリボン運動による乳がん検診の啓発
- ・後期高齢者脳ドックの定員拡充（定員100人→200人）（R3.4～）
- ・各種検診のインターネットによる申込を開始（R2.11～）

◆市民の主体的な運動の促進

- ・フードバレーとかちマラソンや帯広市スポーツフェスティバルの開催など、企業と連携した健康づくりの環境整備
- ・スマホアプリ「SPOBY」を活用した健康マイレージ事業の導入（スマホアプリで記録される歩いた歩数によってポイントが付与され、協賛企業から特典が得られる取り組み）

スマホアプリ「SPOBY」

協賛企業数 39社 登録者数 累計 2,700人
(R3.12末時点)

帯広市健康マイレージ事業



ピンクリボン運動



(24) 障がいのある人がいきいきと働ける環境づくりに取り組みます。

障害のある人の就労促進に向け、中小企業・就労系福祉サービス事業所を対象とした雇用に関する意識・実態調査の実施や、就労・雇用をテーマとした研修会の開催、企業との面接会「障がい者雇用促進フェア」の開催などに取り組みました。

主な取り組み

◆障害のある人の就労・雇用等の理解促進

- ・企業への啓発や研修の実施
- ・障害のある人の雇用に関する意識・実態調査
- ・市役所での職場体験実習の実施

◆障害のある人の就労の促進

- ・就労系福祉サービス事業所への就労支援研修の実施
- ・障害のある人への就労機会の提供
- ・企業と障害のある人との面接会「障がい者雇用促進フェア」の実施
- ・就労に関する情報提供や相談、支援

障害のある人の雇用に関する意識・実態調査

調査数1,570社（R2実施）

障害者理解・支援に係る 企業等からの就労研修への参加人数

H30 259人 R1 224人 R2 97人 R3 85人
(R3.12末時点)

障がい者雇用促進フェアの開催 (企業採用担当と障害のある人との面接会)

H30 参加者数 82人 内定者数 27人
R1 参加者数 87人 内定者数 24人

市役所での職場体験



農福連携による就労機会の提供



(25) 火葬場のバリアフリー化等の改修を進めます。

火葬場の安定的な稼働を確保するため、長寿命化に向けた計画を策定し、火葬炉の改修や増設等に取り組んだほか、待合室の段差の解消や手すりの設置など、施設のバリアフリー化を進めました。

主な取り組み

◆長寿命化に向けた改修・整備

- ・火葬場の個別施設計画の策定・推進
- ・火葬炉の長寿命化（6基）
- ・新型火葬炉の増設
- ・屋上防水工事の実施
- ・マルチサイクロン（集塵機）の更新
- ・収骨室安全石壁改修工事の実施（霊台車の大型化への対応として収骨室を改修）
- ・電気設備の改修（非常用放送設備・高圧電気設備）
- ・ボイラー室暖房設備の改修

◆バリアフリー化に向けた改修・整備

- ・待合室をフラット化し、テーブル・椅子を設置（6部屋）
- ・手すりの設置、案内板の改修



告别室：手すりの設置



廊下：案内板の改修



帯広火葬場



待合室：床をフラット化し、
テーブル・椅子を設置



廊下：手すりの取り付け、
案内板の改修

(26) 地震や水害に備え、自主防災組織の設立や都市基盤の強靱化など、地域防災力の強化に取り組みます。

防災セミナーやリーダー研修会を通じた自主防災組織の育成・支援を実施したほか、災害時に高齢者や障害のある人等が地域住民の協力のもとに避難するための計画づくりを進めました。また、被害想定の見直しを行い、拠点備蓄倉庫や災害備蓄品の整備を進めました。

主な取り組み

◆市民一人ひとりの防災意識の向上

- ・災害を想定した市民参加型の地域防災訓練の実施
- ・町内会・学校等と連携した防災出前講座の実施

◆地域住民による防災体制の強化

- ・自主防災組織の育成や防災活動に対する支援
- ・地域防災の中心的役割を担う防災リーダー向け研修会の開催
- ・高齢者や障害のある人等に対する災害時要援護者個別計画の作成

◆都市基盤の強靱化

- ・帯広市強靱化計画の策定・推進
- ・消防出張所の統廃合による防災機能の強化（柏林台出張所の運用開始（R2.7））
- ・拠点備蓄倉庫の建設、災害備蓄品の追加整備
- ・プラグインハイブリッド車の導入
- ・Jアラート自動起動装置の更新
- ・緊急情報一斉伝達システムの導入
- ・指定避難所への分散型備蓄倉庫の設置
- ・大規模断水や浸水被害対策として災害対策備蓄資器材の整備
- ・大雨や台風による浸水地域の解消を優先した雨水管の整備
- ・水道水の安定供給に資する水道管の耐震化や浄水場施設の強靱化
- ・建築物耐震化に関する普及啓発、住宅の耐震改修に対する支援

防災出前講座、親子防災講座の開催件数 累計**373**回

H30 **136**回 R1 **119**回 R2 **62**回 R3 **56**回（R3.12末時点）

自主防災組織を設立した件数（町内会） 累計**19**件

H30 **8**件 R1 **4**件 R2 **3**件 R3 **4**件（R3.12末時点）

災害時要援護者個別計画の作成件数 計**347**件
（R3.12末時点）

帯広市地域防災訓練(R1.8)



主催：帯広市・鉄南地区連
町・緑栄連町（**860**人参加）

帯広市冬季防災訓練(R2.1)



主催：帯広市・十勝建築災害
対策協議会（**225**人参加）

(27) 中心市街地における再開発などを促進し、都市機能の更新を進めます。

中心市街地における都市機能の更新を通じた地域経済の活性化、域内外の交流の拡大などを図るため、民間主体による西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業を支援したほか、「バスターミナルおびくる」の整備、創業・起業を目指す人材が集う「LAND（ランド）」の開設などに取り組みました。

主な取り組み

◆中心市街地における再開発などの促進

- ・西3・9周辺地区における市街地再開発事業への支援
※R4.2末 工事完了（予定）
- ・バス、レンタサイクル窓口に加え、十勝・帯広のアウトドア観光情報を発信する「バスターミナルおびくる」の整備
- ・帯広駅前に起業家等が集うやりたい実現カフェ「LAND（ランド）」を開設
- ・まちなかの活性化を促進する魅力的で革新的なモデル事業を支援する「元気な中心市街地づくり促進事業」の実施
（1社最大500万円まで補助）
- ・帯広市・第一生命保険㈱・十勝シティデザイン㈱の三者がワーケーション等の推進に基づく関係人口創出・拡大に向けた連携協定を締結
- ・市民活動交流センターにおける子ども向け運動教室や木工教室の開催

西3・9周辺地区における
市街地再開発事業



起業家等が集う
やりたい実現カフェ「LAND」



バスターミナルおびくる



関係人口創出・拡大に向けた
企業との連携協定の締結



(28) 公園緑地や街路樹等の「適正管理計画」を策定し、都市における快適な緑の環境づくりを進めます。

市民に潤いや安らぎを与える快適な緑の環境づくり・魅力づくりを進めるため、第2次帯広市みどりの基本計画を策定し、公園・街路樹の支障木・危険木の計画的な剪定・伐採等を進めたほか、公園の遊具更新や帯広の森の園路整備などに取り組みました。

主な取り組み

◆緑の基本計画の策定・推進

- ・第2次帯広市みどりの基本計画の策定

◆公園緑地の活用と民間活力の導入

- ・帯広の森の園路などの整備
- ・老朽化した公園施設（緑ヶ丘公園児童遊園の遊具）の更新
- ・緑ヶ丘公園や帯広の森全域等への指定管理制度の拡充

◆市民協働による緑化の推進

- ・帯広を緑と花でつつむ花壇コンクール、フラワー通り整備事業等の実施

◆花と樹木による景観づくり

- ・市民寄附等による桜並木整備事業の実施（帯広川堤防沿い、帯広の森「もりの山」周辺）

公園樹木・街路樹 定期剪定数

累計**13,502**本

H30 **3,401**本 R1 **3,232**本 R2 **4,938**本 R3 **1,931**本

支障木・危険木 処理本数

累計**7,787**本

H30 **1,809**本 R1 **1,459**本 R2 **2,722**本 R3 **1,797**本

(R.13.12末時点)

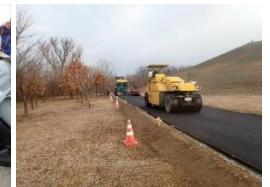
森づくりの活動



フラワー通りの整備



帯広の森 園路整備



(29) 市民・企業参画による帯広型の自然エネルギーの導入を進め、環境モデル都市行動計画を推進します。

低炭素社会の実現に向け、一般家庭や公共施設への再エネ・省エネ機器の導入を進めたほか、市民参加型の「COOL CHOICE」運動の普及啓発などに取り組みました。また、バイオマス活用の推進に向け、十勝バイオガス関連事業推進協議会を設立し、バイオガスプラントの整備に関する調査研究などに取り組みました。

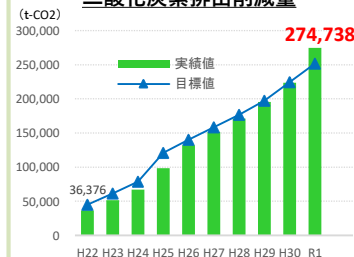
主な取り組み

再生可能エネルギー・省エネルギー機器導入の補助実績

	H30	R1	R2	累計
太陽光発電	88件	95件 (47件)	71件 (49件)	254件 (96件)
エコジョーズ	196件	189件 (3件)	176件 (3件)	561件 (6件)
エコキュート	52件	52件	64件	168件

※ () は蓄電池、ガスコージェネ又はエネファームの同時設置件数

二酸化炭素排出削減量



家畜ふん尿由来水素を活用した発電実証事業



(場所：おびひろ動物園)

◆三期目の環境モデル都市行動計画の策定・推進

- ・一般家庭における再生可能エネルギー等の導入支援（補助対象に蓄電池併設（R1）、ガスコージェネ併設（R1）、エネファーム併設（R3）を追加）
- ・鹿追町と連携し水素サプライチェーン実証事業へ参画
- ・公共施設のLED化、太陽光発電システム導入
- ・とかち・市民「環境交流会」の開催
- ・市民参加型の「COOL CHOICE」の普及啓発
- ・バス会社、町村と連携したノーカーデーの普及啓発

◆バイオマス活用の推進

- ・持続的な地域産業の発展に向けて、十勝バイオマス産業都市構想に基づき、バイオガスプラントの導入などを促進
- ・十勝バイオガス関連事業推進協議会を設立し、利活用について調査研究や要請活動を実施

◆市民との連携促進

- ・環境に優しい活動実践校（帯広市内の全小・中学校、南商業高）が環境省「グッドライフアワード2018」の特別賞「子どもと親子のエコ未来賞」を受賞

(30) 高齢者や子育て世代などが安心して居住できるよう、多様な形態の公営住宅の整備を進めます。

高齢者や子育て世代、障害のある人等のニーズを踏まえ、地域優良賃貸住宅の供給に向けた整備支援に取り組んだほか、市営住宅の計画的な建替えやバリアフリー化を進めました。

主な取り組み

◆地域優良賃貸住宅の供給

- ・子育て世帯または高齢者世帯を対象とした賃貸住宅の整備に対し整備費の一部補助および家賃減額補助

地域優良賃貸住宅制度による
整備補助の実績件数（子育て世帯向け） 累計**55戸**

H30 **18戸** R1 **18戸** R2 **19戸**

バリアフリー化仕様の市営住宅



◆市営住宅の整備

- ・市営住宅の建替および福祉対応型個別改善工事（バリアフリー化）の実施

市営住宅の内観



- ・大空団地3街区 空3・4号棟建替工事（H30 28戸）
- ・大空団地3街区 空1・2号棟建替工事（R1～R2 28戸）
- ・大正団地個別改善工事（H30 42戸）※バリアフリー化

(31) 空家の適正管理の促進や未利用地の活用などにより、定住を促進します。

空家の解体・改修の促進に向け、住宅性能が著しく低下した特定空家の解体を支援したほか、「住まいのワンストップ相談窓口」を開設し、専門家による相談体制の充実などに取り組みました。また、未利用宅地の活用促進に向け、住宅建設への支援などを実施しました。

主な取り組み

◆空き家等の発生抑制・解消の促進

- ・リーフレットの配布や出前講座を通じた情報発信
- ・住まいの相談窓口などの相談体制の整備

◆住まいの総合支援事業

- ・空き家の解体・改修補助
- ・新築住宅や住まいの改修補助

◆未利用宅地の活用促進

- ・おびひろスマイル住宅補助事業による未利用宅地を含めた、省エネや耐久性に優れた新築住宅への補助

特定空家解体補助事業を
活用した特定空き家の解体件数 累計 **27件**

H30 **10件** R1 **8件** R2 **6件** R3 **3件**

住まいの改修助成事業を活用した
住宅の性能向上・長寿化の実績件数 累計 **1,563件**

H30 **390件** R1 **396件** R2 **393件** R3 **384件**

おびひろスマイル住宅補助事業による
新築住宅の実績件数 累計 **160件**

H30 **50件** R1 **44件** R2 **49件** R3 **17件**

(R3.12末時点)

住まいのワンストップ相談窓口

住まいに関するお悩み、
専門家に相談してみませんか？

弁護士

司法書士

土地家屋調査士

多分野の専門家が幅広く対応します！

建築士

宅地建物取引士

社会福祉協議会

○相談できる内容 空家を含む住まいに関する売却・相続・管理・リフォームなどの相談

○相談料 無料

○開催日時 毎月第2日曜日・第4火曜日（11月のみ第4水曜日）
13:00～
※要予約（相談日の8日前までにご予約ください。）

○場所 市庁舎10階会議室・南広市民文化ホール・こまちプラザ
※開催日によって会場が異なります。
詳しくは、建築関係課にお問い合わせください。

「お問い合わせ先」
南広市 建築関係課 住まいの相談係（市役所6階）
TEL 0155-405-4179（直通）

空き家の相談
もできるよ！

(32) 新たな時代に対応した「新しい総合計画」を策定します。

市民と行政がまちづくりの目標を共有し、地域の意思と責任に基づき、効率的で持続可能な活力あるまちづくりを進めるため、新たな時代に対応した協働のまちづくりの指針となる「第七期帯広市総合計画」を策定しました。

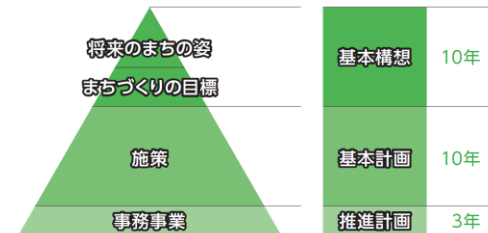
主な取り組み

◆新しい総合計画の策定・推進

- ・将来のまちの姿
「あおあお ひろびろ いきいき 未来を信じる 帯広」
- ・市民と市が一緒になって目指す目標（数値化）
「目指そう指標」を設定

◆総合計画に即した分野計画の推進

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・こども未来プラン
- ・地域福祉計画
- ・都市計画マスタープラン
- ・教育基本計画 等



(33) 「新・行財政改革ビジョン」の策定や「市役所組織の改編」などにより、効果的・効率的な行政運営を進めます。

市職員が能力を発揮し組織の成果の最大化を図るため、新たな行財政改革計画を策定し、ごみ収集業務の民間委託の拡大や、諸証明等交付窓口におけるキャッシュレス決済の導入など、業務のあり方・進め方の見直しに取り組みました。また、組織の横断的な課題への対応強化などを目的に、市役所組織の再編を行いました。

主な取り組み

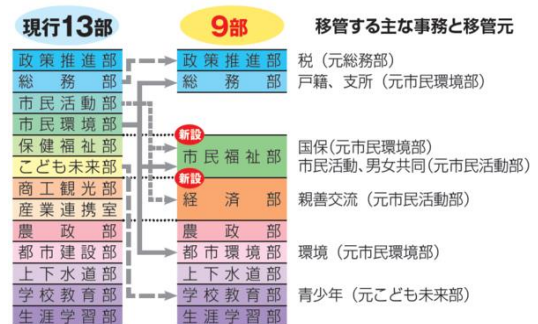
◆帯広市行財政改革計画の策定・推進

- ・保育所の民間移管・再編の方針・スケジュールの整理
- ・日赤東保育所の移管先団体の公募・選定
- ・ごみ収集業務の民間委託の拡大
- ・指定管理者制度の導入拡大（火葬場）
- ・公用バス事業の見直しに向けた検討
- ・RPA※の試行導入などICTの業務への活用推進
- ・テレワークによる在宅勤務の試行実施
- ・収納業務の一元化
- ・ふるさと納税の返礼品取扱事業者の拡充など自主財源確保対策の推進
- ・証明書等発行手数料の納付にキャッシュレス決済を導入

※RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは？
人間が繰り返し行うクリックやキーボード入力など、コンピュータ上で行われる業務プロセスや作業を人に代わり自動化する技術です。

◆市役所組織の再編

- ・部を再編し、相互に関連する政策課題へ柔軟に対応
- ・より効率的な執行体制と対応力を備えた組織編成



- *「市民福祉部」を新設
- *商工観光部と産業連携室を統合し「経済部」を新設
- *総務部に「危機対策課」を新設

(34) 若い世代や女性、企業など、幅広い市民参画を得て、コミュニティの再生を促進します。

市民提案型協働のまちづくり支援事業の実施や、地域貢献を行う企業等との包括連携協定の締結、女性活躍推進に関する講座の開催など、多様な主体のまちづくりへの参画促進に取り組みました。また、町内会等の活動継続に向け、地域実態調査の実施のほか、役員の会議参加の見直しなど、負担軽減に取り組みました。

主な取り組み

◆地縁組織の運営改善への支援

- ・地域実態調査の実施
- ・地域や企業の社会活動に関する実態調査の実施
- ・町内会の加入促進支援（チラシのリニューアル、宅建協会を通じた加入呼びかけ）
- ・市町連役員の会議参加の見直し
- ・市から町内会への一斉発送文書の削減
- ・町内会加入代行サービスの実施
- ・町内会の発足支援（2件）、合併支援（1件）
- ・これからの老人クラブ活動に関する検討委員会の開催

◆男女共同参画の促進

- ・女性活躍推進に関する講座の開催

◆活動団体の連携促進

- ・町内会の活動、ボランティア活動、NPOなどの市民協働・市民活動を紹介するポータルサイトの運営

◆市民提案型協働のまちづくり支援の実施

- ・「Mottoおび広がるプロジェクト」による活動支援

公開プレゼンテーション



事業採択件数
累計**41**件
(H30～R3)

◆企業との連携協定によるコミュニティ活動の促進

- ・企業との協働のまちづくりに関する包括連携協定に基づく取り組みの実施

包括連携協定締結



協働のまちづくり包括連携企業

- ・北海道コカ・コーラボトリング
- ・サッポロビールホールディングス、サッポロビール
- ・イトーヨーカ堂、セブンイレブン、ダイイチ
- ・イオン
- ・帯広市内郵便局
- ・社会医療法人北斗

(35) 地域の実情を踏まえ、コミュニティ施設の管理手法を検討し、効果的な運営を進めます。

管理人の配置や勤務形態の検証、営利目的の利用緩和の検討、運営委員会の位置づけ等の整理など、コミュニティ施設の効果的な管理運営手法の検討を進めました。また、コミュニティ施設の更新等の計画的推進に向け、各施設の利用実態や、老朽化状況の調査などに取り組みました。

主な取り組み

◆コミュニティ施設の管理運営手法の検討

- ・効果的な管理運営手法の検討（管理人の配置・勤務形態の考え方の整理、帯広方式の検証）

◆コミュニティ施設のあり方の検討

- ・躯体健全性調査の実施
- ・年間利用者数、老朽化等の状況を踏まえた検証
- ・運営委員会との協議による現状把握や課題認識の共有

◆コミュニティ施設の使用許可基準の見直し

- ・コミュニティ施設における「営利目的の利用」の検討

サークル活動



会合（町内会等）



(36) 公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設等の効率的な管理・運営や長寿命化等を進めます。

帯広市公共施設マネジメント計画に基づき、施設の統廃合や長寿命化に取り組んだほか、施設類型ごとの考え方を踏まえた各施設の取り組みの方向性を整理し、個別施設計画の策定を進めました。また、公共施設を取り巻く環境や公共施設マネジメントの必要性について、広報等を通じ、情報発信を行いました。

主な取り組み

◆公共施設マネジメント計画に基づく施設のあり方整理

- ・個別施設計画の策定・推進
 - * 学校等長寿命化計画
 - * 火葬場個別施設計画
 - * 文化・社会教育・スポーツ施設の個別施設計画

◆公共施設マネジメントの取り組みに関する情報発信

- ・帯広市の公共施設等の状況について広報（R1.9号、R2.11号、R3.11号）等で情報発信

◆公共施設マネジメント計画の主な取り組み事例

- ・職員会館の廃止（S45建設、R1取り壊し）
- ・公害防止センターの施設機能の廃止（S58建設、R2売却）
- ・火葬場の長寿命化（R1-R2に火葬炉などを長寿命化）
- ・民間活力を活用した総合体育館「よつ葉アリーナ十勝」の整備（R2.2供用開始）
- ・消防署西出張所・緑ヶ丘出張所を統廃合し、柏林台出張所を整備（R2.7運用開始）
- ・大空学園義務教育学校の整備および個別改修（R1～R3）
- ・岩内自然の村の利活用に係る民間提案型調査の実施（R3）

公共施設マネジメントとは？

社会経済情勢の変化に対応し、市の財政状況などを考慮しながら、長期的な視点を持って、公共施設の機能が効果的に発揮されるよう、施設の長寿命化や施設総量の適正化などに取り組むことです。

消防署柏林台出張所



帯広市総合体育館



岩内自然の村



火葬場



(37) 公共施設のトイレの洋式化を計画的に進めます。

各公共施設等の利用状況、トイレの整備状況、施設改修・長寿命化の見通しなどを総合的に勘案し、救急・保健施設、文化・教育施設、福祉施設、スポーツ施設、動物園、保育所、公園等における計画的なトイレの洋式化を進めました。

主な取り組み

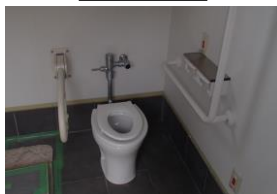
◆取り組みの内容

- ・公共施設のトイレの洋式化（救急・保健施設、文化・教育施設、福祉施設、スポーツ施設、動物園、保育所、公園 等）

総合体育館



大和児童公園



◆改修実績

改修実績	H30		R3
	1,197基	⇒	1,315基

洋式化率	H30		R3
	65.5%	⇒	70.0%

公共施設の洋式トイレの整備例（H30～R3）

施設名	整備数
コミュニティーセンター	25基
百年記念館	4基
児童会館	6基
緑ヶ丘公園	8基
総合体育館	93基
くりりんセンター	3基
ことぶき保育所	1基
緑ヶ丘保育所	1基
柏児童保育センター	1基
めぐみ第1児童公園	1基
大和児童公園	1基
帯広の森弓道場	2基
新北西ウレシパ公園	1基

(38) 定住自立圏構想や十勝バイオマス産業都市構想などを通し、十勝の自治体との連携を強化します。

第3期十勝定住自立圏共生ビジョンに基づき、医療・福祉、教育、産業振興等の分野において、広域連携の取り組みを進めたほか、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用を進めるため、十勝バイオマス産業都市構想の見直しを行いました。また、十勝圏複合事務組合と十勝環境複合事務組合の統合により、事務の効率化を図りました。

主な取り組み

◆第3期十勝定住自立圏共生ビジョンの策定・推進

◆十勝バイオマス産業都市構想の推進

◆地方創生に向けた自治体連携の実施

- ・十勝・イノベーション・エコシステムの推進
- ・十勝アウトドアDMO事業の推進

◆とかち広域消防事務組合の取り組み

- ・十勝管内における広域消防の運用

◆日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた要請活動の実施

◆一部事務組合による事務の共同処理

- ・十勝圏複合事務組合と十勝圏環境複合事務組合の統合
- ・新たな一般廃棄物中間処理施設の整備に向けた基本構想の策定

十勝管内のバイオガスプラントの稼働件数



十勝**50基**
全国 **232基**

(R3.3末時点)

＜帯広市政策推進部企画室企画課＞

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL:0155-65-4105 FAX:0155-23-0151

E-mail:plan@city.obihiro.hokkaido.jp